



開倫ユネスコ協会
NewsLetter

第64号
足利市堀込町145 Tel 0284-72-5915
発行者 林 明夫 2011年6月1日

United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization (UNESCO)

東日本大震災復興・祈念大会
第12回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会



開会式で整列する選手の皆さん



選手宣誓

はじめに

4月24日(日)、佐野市の佐野市運動公園・多目的広場に於いて、栃木県ドッジボール協会、開倫ユネスコ協会主催による、東日本大震災復興・祈念大会「第12回 KAIRIN 杯ドッジボール選手権大会」が執り行われました。今年は、3月11日の東日本大震災で多くの方々が被災され、家や家族を失い、未だ苦しんでいらっしゃる方々に対し、少しでも復興支援の助けになれば幸いと考へ、復興・祈念大会として開催させていただきました。エントリーした50チームのうち、被災によって4チームが欠場となりました。

選手、監督、コーチ、保護者、スタッフなど約2500名全員で、黙とうを捧げた後、熱戦がくり広げられました。

- | | | | |
|--------|----|------------------|-------|
| <男女混成> | 優勝 | バイオレンス国田 | (茨城県) |
| <女子> | 優勝 | 広沢子供会 | (群馬県) |
| <ジュニア> | 優勝 | スポレクブルーファイターズ JR | (栃木県) |

今年、天明鋳物ベーゴマ協会様（佐野市）のご協力のもと「ベーゴマ体験教室」を併せて催し、本部テントの隣に体験コーナーを設けました。

試合を待つ間、ベーゴマに挑戦し、うまく回せた子どもたちはとても嬉しそうでした。保護者や監督の方々も昔を懐かしんで参加されていました。

今年も多くの皆様のご支援、ご協力により、大変実り多い素晴らしい大会となりましたことを、心より感謝申し上げます。

各チームの選手、コーチ、監督、保護者、審判ドッジボール協会役員等、たくさんの方々から、世界寺子屋運動に対する「募金」と「書き損じはがき」をお預かり致しました。ご協力ありがとうございました。

★募金 61,400円 ★書き損じはがき320枚



ベーゴマ教室の様子

復興の輪が広がりました！ 第2回がんばろう！東日本の子供達！カップ

宮城県白石市のドッジボールクラブ「アルバルクキッズ」の皆様から、「第2回がんばろう！東日本の子供達！カップ」開催という、嬉しい報告が届きました。

今年のKAIRIN杯ドッジボール選手権大会には、エントリーしながらも被災によって欠場となってしまいました。しかし、「何としても子どもたちにドッジボールの楽しさを味わってほしい」という思いを叶える熱意でもって開かれた大会であります。

子どもたちのエネルギーあふれる様子に、私たちこそ励まされる思いが致します。

この度の大会を主催された黒沢明氏、および実行委員会の皆様にご敬意を表するとともに、一日も早い復興をお祈りしております。

開催：2011年5月15日(日)

会場：白石市スポーツセンター／白石市第二小学校

参加：10チーム（宮城県／福島県／茨城県）

主催：アルバルクキッズ「がんばろう！東日本の子供達！カップ」実行委員会

後援：開倫ユネスコ協会

